

アメニティ西岡水源池グループホームの

## 横山 礼子<sup>ホーム長</sup>にお話を お伺い致しました。

(右から2人目)  
横山ホーム長▶



### Q1. グループホーム(認知症対応型共同生活介護)はどのようなところですか。

当グループホームでは、認知症高齢者の尊厳を保ち、ご利用者が中心となり、穏やかで安心して生活できるような環境を作っています。認知症であっても日々困らない工夫をし、共に生活をしています。ホームに住むご利用者とスタッフが食事の支度や掃除、洗濯など共同で行い家庭的で落ち着いた雰囲気の中でお互いに協力し合って「なじみの関係」を作り、認知症状の進行が少しでも緩やかになるよう努めています。

### Q2. アメニティ西岡水源池グループホームの設立と活動について教えてください。

平成16年9月開設です。2階建てで1階、2階に9名ずつ、合計18名のご利用者が生活しています。

グループホームではご利用者に日々を楽しく、活気ある生活を送っていただくため、パズル・ゲーム・体操などを行い、食器拭きや洗濯ものをたたむなど個々にあった活動を行っています。また、ご家族には外食行事や活動に参加していただき、来所時には日々の状況を報告するなどコミュニケーションを大切にしています。



### Q3. 地域との関わりについて教えてください。

当グループホームは、地域密着型で地域との連携を重要視しています。

町内会の大きな協力を得て、町内会の活動(運動会、草取り、ごみ清掃等)にご利用者と一緒に参加し、時にはグループホームの行事(花火大会、避難訓練等)にも参加してもらうなど開かれたグループホームを目指しています。

また、運営推進会議を2カ月に1回開催し、活動状況をお知らせしています。

### Q4. 現在の課題について教えてください。

昨今、自宅での看取りについて多く聞かれています。当グループホームでもターミナルケアについて見直され、住み慣れた場所、ともに生活してきたスタッフ、そして見守ってくれるご家族の中で最期を迎えさせたいと願うご家族もいらっしゃいます。

当グループホームでもご家族の希望で看取り介護を行いました。亡くなる数時間前までみんなで歌を歌い、ご家族に見守られながら旅立たれました。ご家族から「グループホームで最期を迎えられ本人も私たちも満足しています」とのお言葉があり、安らかな看取りができたと思えました。

アメニティ西岡水源池  
グループホームの介護理念

- 1) 温かい笑顔で「なじみ」の環境を築きます
- 2) 地域との絆を大切にし、自分らしく「生きがい」のある生活を提供いたします

## アメニティ西岡水源池グループホーム

電話011-584-0668  
〒062-0034  
札幌市豊平区西岡4条13丁目7-20

## 五十嵐副会長が名古屋市で講演

全国で在宅医療の支援体制の構築に向けての取り組みが行われております。名古屋市東区では、大幸砂田橋クリニックが中心となり、活動を行っております。

10月21日、大幸砂田橋クリニック主催の第2回矢田川ネットカンファレンスにて、当会の五十嵐知文副会長

(西岡病院副院長)が、「とよひら・りんくへの取り組み」を講演させて頂きました。

当会の取り組みについて様々なご意見を頂きましたので、今後の活動の参考にしたいと思います。